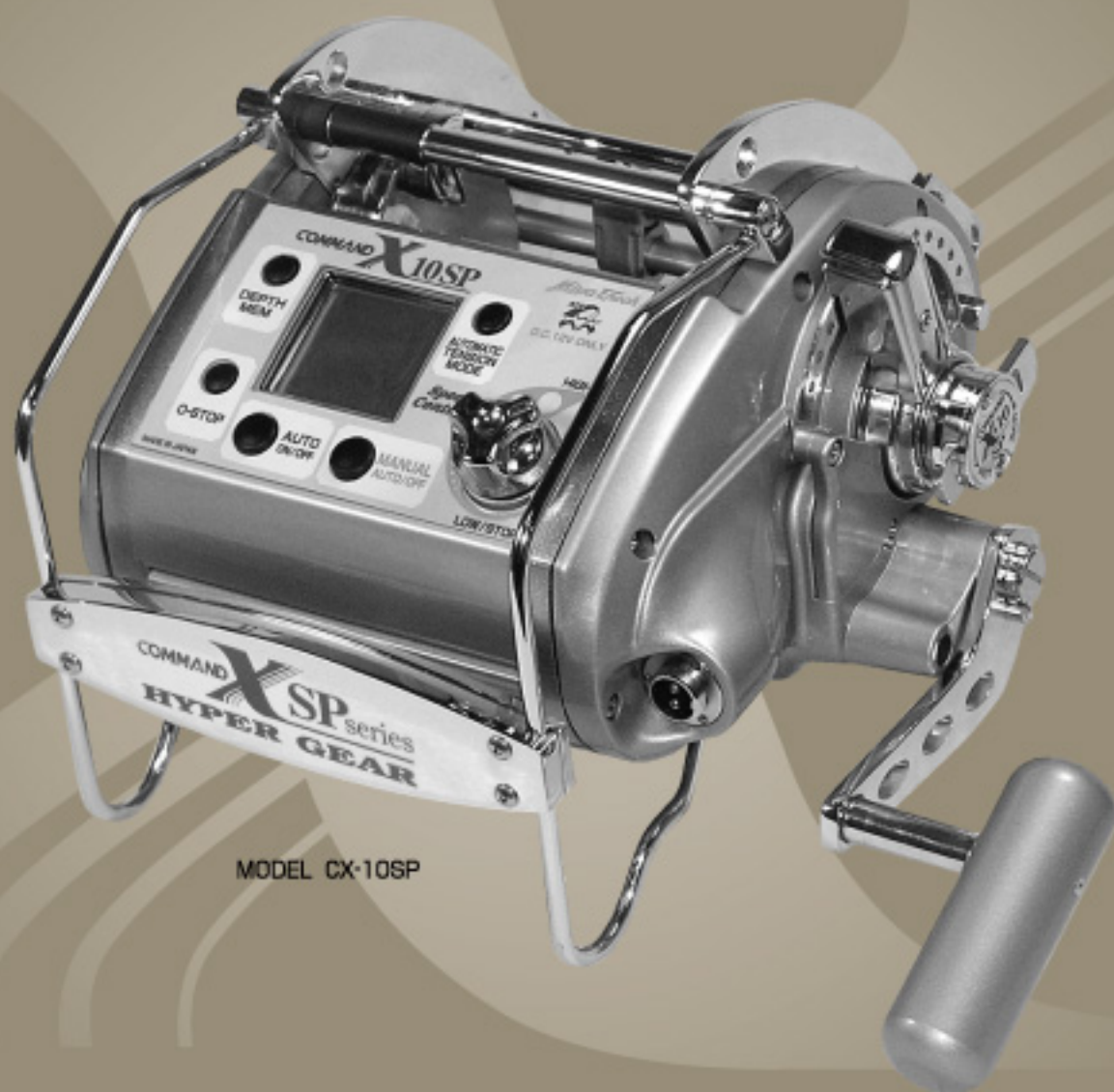


COMMAND X 10·20SP

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

保証書付(P14)



MODEL CX-10SP

ミヤエポック

URL <http://www.miyaepoch.jp>

このたびはミヤエポック **COMMAND X 10・20SP** を

ご購入いただき、誠にありがとうございます。

このリールの機能を十分に発揮させ、また永年ご愛用いただく

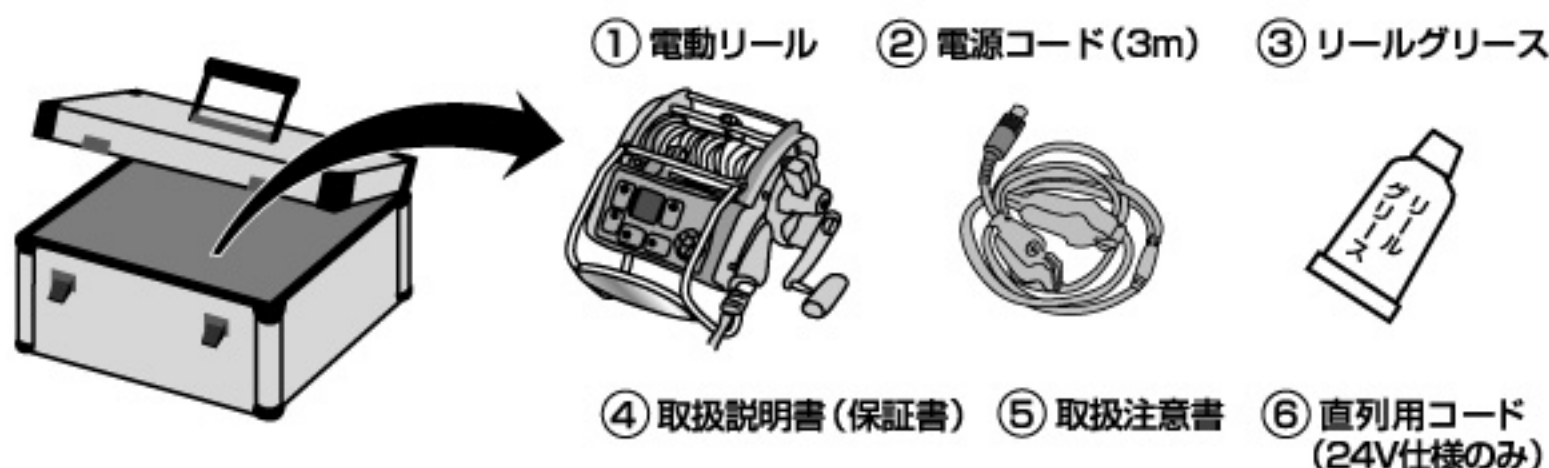
ためにもこの取扱い説明書をお読みください。

目 次

目次・梱包内容	1P
製品の仕様	2P
各部の名称	3P
釣行前の準備	4～5P
各スイッチの機能と操作方法	6～8P
実釣編	9～10P
分解図	11～12P
使用上のご注意とお手入れ方法	13P
保証書	14P

梱包の内容

このアルミケースの中に入っている商品です。
最初に開けた時に、ご確認ください。



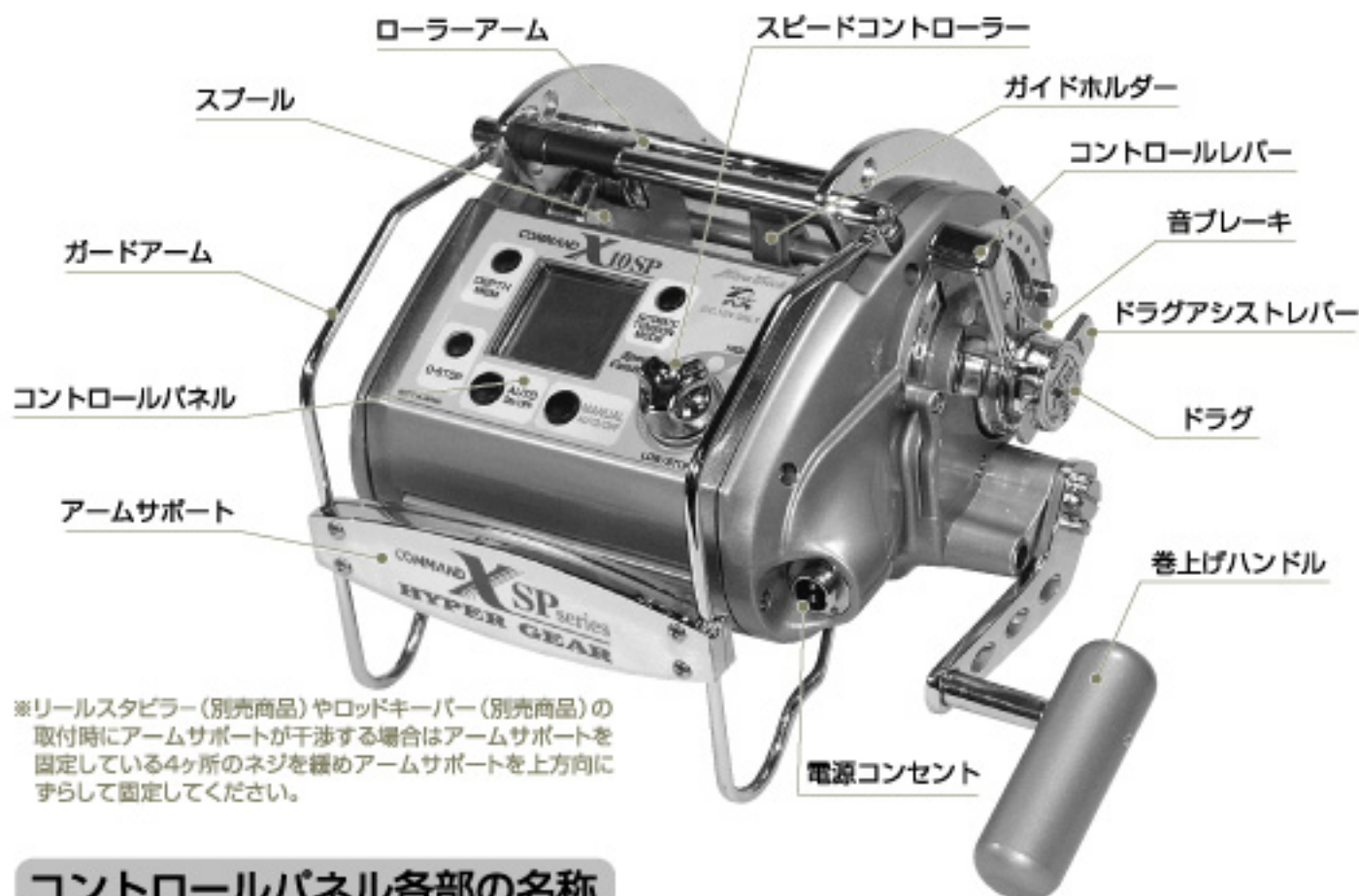
Miya Epoch COMMAND X 10・20SP 仕様

項 目	CX・10SP		CX・20SP	
	D.C-12V	D.C-24V	D.C-12V	D.C-24V
最大糸巻量(新素材) (ミヤNEWディーブセンサー)	12号-1.400m、20号-800m 15号-1.100m、30号-700m		12号-1.600m、20号-1,000m 15号-1.200m、30号- 850m	
瞬間最大巻上力 (スプール最小径時)	568.7N(58kg)	980.7N(100kg)	833.6N(85kg)	1.078.8N(110kg)
最大巻上速度 (スプール最大径無負荷時)	110m/分			
ドラグ耐力	343.2N(35.0kg)~725.7N(74.0kg)			
巻上方式	3ウェイ(電動、手巻、電動+手巻)			
電 源	D.C-12V専用	D.C-24V専用	D.C-12V専用	D.C-24V専用
消費電流	1.4A~20A	0.6A~10A	1.4A~20A	0.8A~10A
手巻きギヤ比	1 : 2.54			
電 子 制 御	船ベリ停止、深さ記憶、スロースタート、スローストップ、無段変速(一時停止・最低速~最高速)、 釣力コントロール(2モード切替)			
安 全 機 構	+-逆接続防止、過負荷停止制御、バッテリー電圧低下検出、過電圧検出			
液 晶 表 示	ローラーによるメートル表示、回転数表示、深さ記憶表示、 棚停止方向・上から底から表示、スプール回転方向表示、 スピード設定値表示、電圧レベル表示、電圧低下警告表示		ローラーによるメートル表示、回転数表示、深さ記憶表示、棚停止方向・ 上から底から表示、スプール回転方向表示、スピード設定値表示、 電圧レベル表示、電圧低下警告表示、高速自動巻取表示	
ハ ン ド ル	不要時は脱着固定式			
使 用 温 度	-10℃~+80℃			
ボールベアリング	12個			
バックラッシュ防止	音ブレーキ			
リール自重	4.7kg		5.8kg	
付 属 品	電源コード(3m)、リールグリース、直列用コード(24V仕様のみ)			

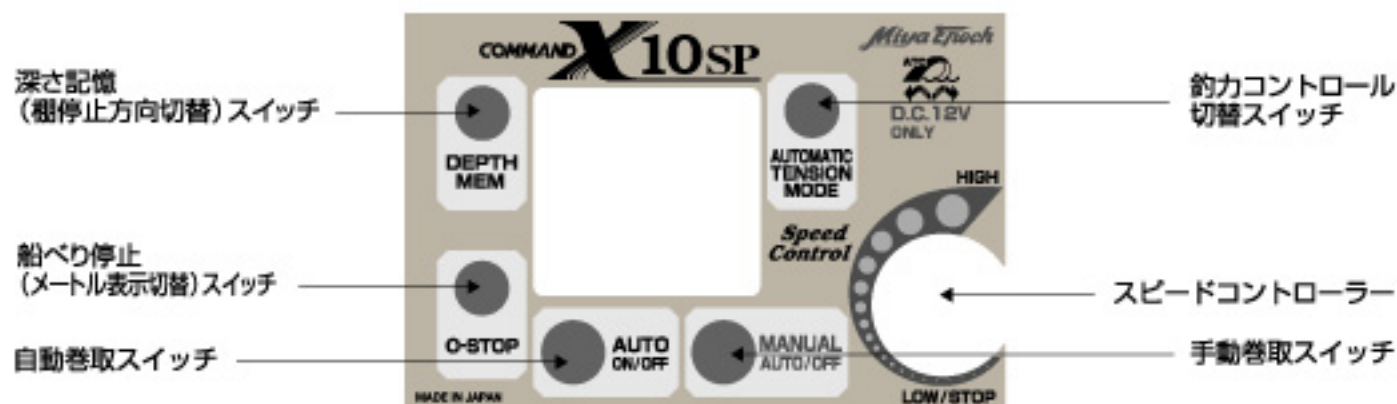
※本仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。

MADE IN JAPAN

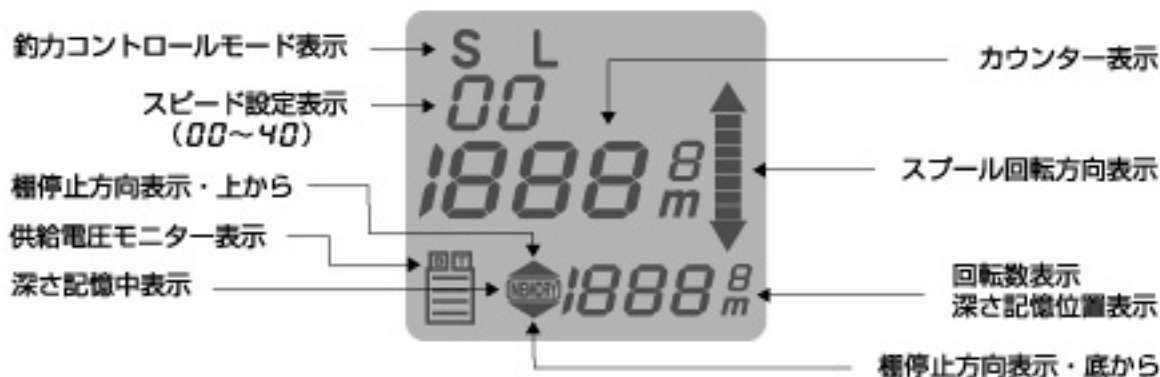
COMMAND X 10・20SP 各部の名称



コントロールパネル各部の名称



液晶画面表示

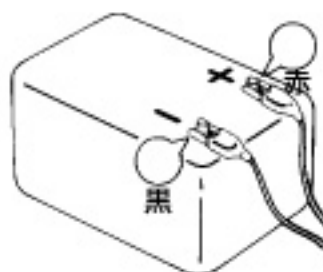


操作方法（釣行前の準備）

電源の接続

1 電源コードをバッテリーに接続します。

電源コードをバッテリーの⊕に赤カバーのクリップを
⊖に黒カバーのクリップを接続して下さい。
（釣行の際は、バッテリーはなるべく海水のかからない安
定した場所に置いて下さい。）



2 電源コードをリールに接続します。

リールのコントロールレバーを手前に引き、スプールをフ
リーの状態にします。電源コードのプラグをリールのコン
セントに接続してからリングナットを締め付けしっかりと
固定して下さい。



3 電源が正しく接続されると液晶画面は 右図【図1】の様に表示されます。

00~40の数字を表示します

【図1】



*電圧が低い場合は【図2】の表示となります。
正しい動作が出来ない場合がありますので
バッテリーを取替えるか、充電してください。

【図2】



供給電圧レベル表示

■ 供給電圧をバッテリーマークで表示します。

バッテリーマーク	DC12V仕様	DC24V仕様
バー4本表示	約12.0V以上	約24.0V以上
バー3本表示	約11.5V以上	約23.0V以上
バー2本表示	約11.0V以上	約22.0V以上
バー1本表示	約10.5V以上	約21.0V以上
表示の点滅	約10.5V未満	約21.0V未満

点減

※電圧低下警告

*ご使用になられている電源・環境により、バッテリーマーク表示と実際の
電圧が一致しないこともあります。

*バー表示が無く、バッテリーマークが点滅している時は、供給電圧が
約10.5V未満(24V仕様の場合は、約21.0V未満)に低下しており正常な
動作が出来ない場合があります。バッテリーの充電か交換をお願いします。



警告

本製品は直流12V(24V)専用仕様であり、使用可能電圧は
直流10.5V~13.8V(21.0V~26.0V)です。
直流12V仕様は直流19V以上の電圧印加は遮断される構造と
なっております。また他の電源(交流100V、200V等)を接続し
ますと、焼損して使用できなくなるだけでなく、事故の原因とも
なりますので、十分ご確認の上接続してください。

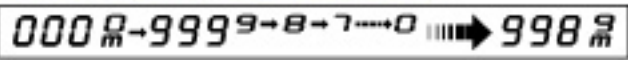
糸巻き方法

- 1 道糸をレベルワインドに通し、スプール軸に2、3回巻きつけて、糸止めに掛けて結びます。
- 2 電源を接続します。
- 3 コントロールレバーを起こします。
- 4 ローラーアームを倒し、メートル表示（図1）に設定します。
〔表示例 08〕



ローラーアームを上げて巻く場合は、回転途中で回転数表示（図2）となります。

- 5 手動スイッチか、ハンドルで少し巻きます。

表示は  998m
とマイナス表示します。

〔図1〕



- 6 スピードコントローラーにより、スピード設定値を00以外の数値にして下さい。
〔表示例 08〕

〔図2〕



- 7 道糸に適当な負荷を掛け、自動巻取スイッチを押して、連続巻取をして見ましょう。

スピード設定値が00の時は一時停止状態となっており、自動巻取りスイッチを押してもモーターは回転しません。その際には、00表示が点滅し、一時停止状態をお知らせします。

- 8 巻取りスピードはスピードコントローラーにより、任意のスピードが得られます。
- 9 巻き取る道糸が残り少なくなれば、自動巻取りをストップし、手動巻取りかハンドルで巻き取って下さい。

注意 道糸はスプール径より太くならない様に巻いてください。

- 10 巻き終われば、船べり停止スイッチを長押しすると
（図3）が表示されます。

〔図3〕



- 11 コントロールレバーによりフリー状態にし、釣糸を手で少し引き出し、カウンター表示が

 001m

と変化する事をご確認下さい。糸巻操作の終了です。

- 12 糸巻を終えたら、各部の機能と制御方法をご確認しておいて下さい。



注意

長時間連続回転させますと、モーター収納部が熱くなりますので、ヤケド等に注意ください。



注意

糸が勢いよく出ている時、スプールの上に指を置いたり、糸をつかんだりしますと、糸で指を切ったりヤケドの恐れがあります。



警告

糸をリードするレベルラインの所に、指を挟まれてケガをする恐れがあります。

スイッチの機能と操作方法

手動巻取スイッチ

■ 手動巻取機能

- 押している間モーターがスピード設定値20のスピードで回転し離すと停止します。
※手動巻取の場合、巻取スピードは一定値20で設定されております。
※深さ記憶（底から停止）中、棚よりも下から巻取った場合、棚で一旦停止します。

■ 自動巻取停止機能

- 自動巻取り動作中に、このスイッチを押して離すと巻取りが停止します。

自動巻取スイッチ

■ 自動巻取機能

- このスイッチを押して離すと投入した仕掛けを設定されているスピードで船べり停止位置（000m）まで連続巻取りします。
- 自動巻取中に再度このスイッチを押すと巻取りが停止します。
※液晶画面カウンターが000mの時、スピード設定値が00の時はモーターは作動しません。
スピード設定値が00の時にスイッチを押して離すとカウンターが点滅し一時停止状態にある事をお知らせします。スピード設定値を変える（増加）とモーターが作動し、巻取りを開始します。
- 深さ記憶（底から停止）中、棚よりも下から巻取った場合、棚で一旦停止します。
釣力コントロールモードで使用中は、停止しません。

■ 高速自動巻取機能

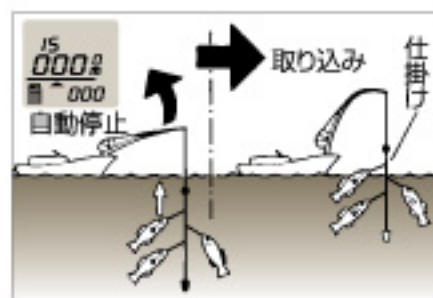
- 高速自動巻取スイッチを長押しし、液晶表示部に“HI AUTO”表示後、指を離すと高速自動巻取を開始し、船べり停止位置000m、もしくは深さ記憶（底から停止）中は、棚まで連続巻取りします。
- 高速自動巻取り中は、スピード設定表示の数値に関係なく最高速で巻取りますが、運転中にスピードコントローラーの操作を行うとその設定値にスピードが変速され、その後はスピードコントローラーによるスピード調整が可能となります。
- 高速自動巻取り中は、釣力コントロール表示（S・L）であっても釣力コントロールは効きません。
- 高速自動巻取り中に、再度このスイッチを押して離すと巻取が停止します。
※液晶画面が船べり停止位置000mの時は、モーターは作動しません。

船べり停止スイッチ

■ 船べり停止位置の設定機能

- 魚の取込み、餌の取替え、仕掛け取込みに適した位置で、このスイッチを長押しすると液晶画面のカウンター数値が点滅後に000に切り替わり、次の投入巻上げ時はこの位置で自動停止します。

船べり停止位置は道糸の伸縮、獲物の引きなどによって多少異なる場合がありますが、その場合は再度停止位置を決めて、船べり停止スイッチを押してください。



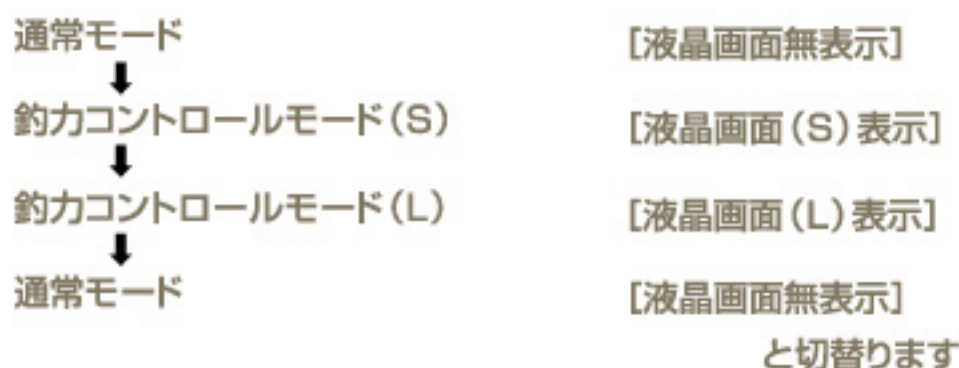
■ 回転数表示⇒メートル表示 切替機能

- 回転数表示で使用中にメートル表示に切替えたい場合、船べり停止中にローラーを降ろしスプールに接触させ、このスイッチを長押しすると液晶画面のカウンター数値が点滅後000となり、さらに押し続けると000m表示に切り替わります。

釣力コントロール切替えスイッチ

■ 自動巻取モード切替え機能

- 対象魚・釣法に合わせてモード[S(弱)または、L(強)]とスピード(釣力)を設定して下さい。
電源投入直後は通常モード(※1)に設定されておりますので、釣力コントロール切替えスイッチを操作してモード切替(※2)を行って下さい。
- ※1 通常モード 釣力コントロールの働かない自動巻取りモード。
- ※2 モード切替 モーターが停止している状態で釣力コントロール切替えスイッチを押して離す毎に



■ 魚がヒットしたら...

- 自動巻取りスイッチを操作(押し離し)してください。
ヒットした魚が目的の魚以上に大物だった場合等は、必要に応じてスピードの調整・ドラグ力の調整を行って下さい。

深さ記憶スイッチ

■ 深さ記憶機能

- 記憶させたい深さ(棚)位置でこのスイッチを押して離すと、その深さ(棚)を記憶し液晶画面に記憶された深さがメートル又は回転数で表示されると同時にMEMORYの文字が表示され、次回の仕掛け投入時より記憶された深さ(棚)位置で自動停止します。深さ記憶(棚)位置を変更したい場合は、次に記憶したい深さで停止中に再度このスイッチを押して離すと、深さ記憶(棚)位置が変更されます。深さ記憶を解除したい場合は記憶されている深さ(棚)位置に停止中か、船べり停止中に再度このスイッチを押して離すとMEMORYの文字が消えるのと同時に記憶位置が解除されます。
- ※釣力コントロールモードで自動巻取中は底からの停止は出来ません。

■ 棚停止方向切替機能

- このスイッチを長押しする事で上からの停止(仕掛け投入時の停止)と底からの停止(巻上げ時の停止が切替り)▲(上から)▼(底から)の表示記号が切替ります。
- ※電源投入時は上からの停止に設定されています。

スピードコントローラー

スピードコントローラーを廻すことで液晶画面のスピード設定表示が変化します。(00~40)

■ 巻取りスピード(釣力)の変速機能

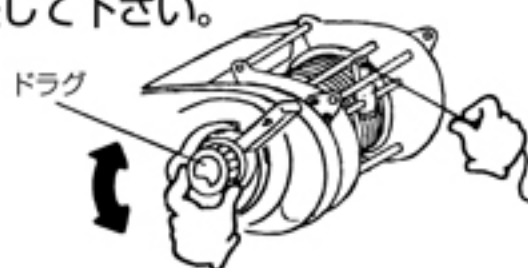
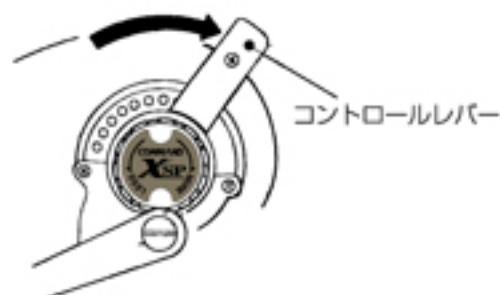
- 右回りに廻すとスピードが速くなり(最大40)巻上げ力が強くなります。
- 左回りに廻すとスピードが遅くなり巻上げ力が弱くなります。
- さらに00表示まで左に廻すと一時停止となります。



スイッチの機能と操作方法

■ ドラグの設定

- ① コントロールレバーを中間まで移動させます。残りは大物が釣れた時の為に余裕を持たせておきます。
- ② 道糸を引きながらドラグを回して、対象魚・釣法にあわせてドラグ力を調整して下さい。



■ ドラグアシストレバーによるドラグ調整

魚が掛かった際は、コントロールレバーを動かさないで、ドラグの微調整を行う事ができます。

注 意

- ① ドラグアシストレバーは掛かった魚とのやり取り中にドラグを微調整する為の機能であり、むやみにドラグ力をアップさせるものではありません。無理に締めこんでいくと製品を損傷させる可能性がありますのでご注意ください。
- ② ドラグを緩めすぎるとドラグ及び内部部品（ベアリング、ドラグプレート）が外れる事が有りますので充分にご注意下さい。万一部品が外れた場合は、分解図（P11～P12）を参考に組み付けて下さい。



音ブレーキノブ

■ バックラッシュ防止機能

- ノブを上げると音ブレーキが有効になり仕掛け投入時のバックラッシュを防止します。
- 巻取り時はノブを下げて音ブレーキを解除させて休ませて下さい。

メーター表示についてのお願い!

- ナイロン・ワイヤー（コーティングワイヤーを含む）を道糸としてご使用になりますと表示メーターに誤差が発生します。
- 釣行後、ローラー回転部に塩分等が付着していますので必ずローラー部を真水で洗ってください。
- 道糸の巻取径はスプール径より大きくならないようにして下さい。
- 船べり停止位置は獲物の大きさ・引き、道糸の伸縮等により多少の変動が発生する事があります。その場合は必要に応じて再度船べり停止位置を設定して下さい。

ローラーゴム摩耗時の取替え方法

- Aのネジをマイナスドライバーではずしローラー部を抜きますとローラーゴム及びOリングがはずれます。
- ローラーゴムをはめる際、R部及び順序は下図のようにして組み立ててください。



つめの取り替え方法



ガイドホルダーのフクロナットをはずし、レベルラインを抜き取ります。



警告

トローリングでご利用の際は、ローラーアームを上げ、ローラー止め金具を掛けてお使い下さい。

トローリングでローラーアームを使用して深サ記憶スイッチを押し深サ記憶設定した状態で魚がヒットしラインが出て深サ記憶が作動しますと身体に大きな衝撃を受け大変危険です。



トローリングで使用される場合は、急激な魚のヒットによる釣糸の絡みを防止する為、必ず図の様にローラー止め金具でローラーアームを固定して下さい。その時は、深サ記憶機能も自動的に削除されます。

1 電源の接続をしましょう。

電源コードを船上のバッテリーに接続して下さい。
電源コードをリールに接続して下さい。

2 電圧のチェックです。(図1)

バッテリーマークのバーが、1本以上あれば使用可能です。

[図1]



バッテリーマーク

3 仕掛けを接続しましょう。

4 船べり停止スイッチを長押しして(図2)
表示で離して下さい。

この表示(図2)で準備OKです。

[図2]



5 仕掛けを投入しましょう。

6 仕掛けが海底、又は任意の深さに降りればコントロールレバー・手動巻取り
スイッチを操作して棚を取って下さい。

7 棚を取り終えたら、対象魚・釣法に合わせて、釣力コントロールを
設定しましょう。



通常モード



釣力コントロールモードS



釣力コントロールモードL

● 電源投入直後は、通常モードに設定されております。

釣力コントロールを使用した場合、魚の引込力や船のローリングによるラインに
掛かるテンションの強弱をマイコンが常時監視し、その場面に応じた巻上げ力と
スピードを表現します。

- 魚の引きが強ければ、巻上げスピードが遅くなり、巻上げ力は弱くなります。
- 魚の引きが弱ければ、巻上げスピードが速くなり、巻上げ力は強くなります。
- 魚をバラさず、より早く取り込む事ができます。

実釣編

- ⑧ 魚がヒットすれば、自動巻取りスイッチを押して離して下さい。
スロースタート機能が発揮され、巻取りが始まります。
- ⑨ 巻上げ時は、スピードコントローラーにて巻上げ速度を調節して下さい。
- ⑩ 船べり停止位置近くになりますとスローストップ機能が働き、船べり停止位置にてストップします。魚の引きにより、仕掛けが巻き足りない状態が起これば、手動スイッチ、ハンドルで巻上げて魚を取込んで下さい。
- ⑪ 船べり停止スイッチにて、任意の停止位置(図3)を設定しましょう。

[図3]



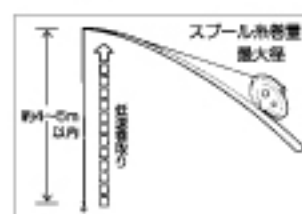
■スロースタート制御

自動巻取スイッチを押して離しますと、スピードコントロールで設定されている速度まで最低速度よりスロースタートします。



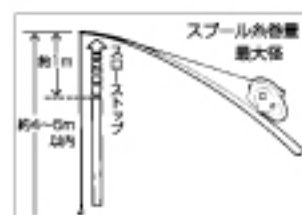
■巻き込み防止制御

スプール糸巻量が最大径の場合、約4~5m手前で巻き取った時は、最高スピードに設定されていても低速で巻取り巻き込みを防止します。



■スローストップ制御

自動巻取中、船べり停止の約1m手前から巻き取り速度を除々に減速し、スローストップします。

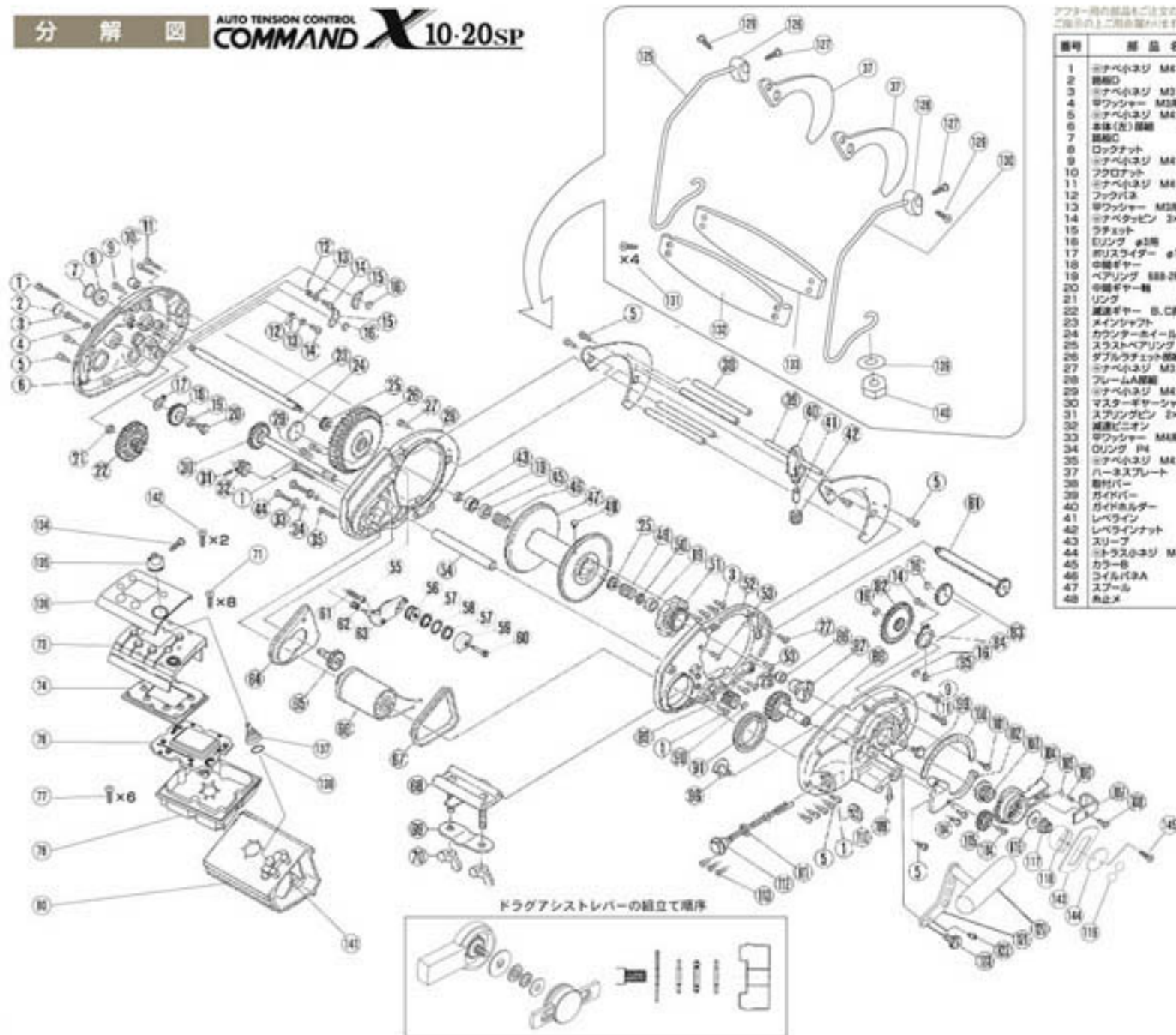


！ 魚がヒットした時に、深さ記憶スイッチを押しましょう。



深さ記憶された表示

- 魚がヒットした深さを記憶しますので、再度、仕掛けを投入すれば、狙いの棚でストップします。
コントロールレバーを前に倒して、魚のアタリを待ちましょう。



ドラッグアシストレバーの組立て順序

アフター用の部品もご注文の場合は部品表の番号、部品名、DC 12V-DC 24Vのタイプ別にご指示の上でご注文が出来ます。お問い合わせします。

部号	部品名	数量	部号	部品名	数量
1	※ナベ小ネジ M4×30	4	49	コイルバネ	1
2	鉄板D	1	50	フランジカラーA	1
3	※ナベ小ネジ M3×8	6	51	スプールのギヤー	1
4	ワッシャー M3用	1	52	フレームB部組	1
5	※ナベ小ネジ M4×12	6	53	※ナベ小ネジ M4×15	2
6	本体(左)部組	1	54	マスターギヤーパイプ	1
7	鉄板C	1	55	ロックピン	1
8	ロックナット	1	56	アームシャフト	1
9	※ナベ小ネジ M4×16	2	57	ローラーゴム	2
10	フロロナット	1	58	リングP18	1
11	※ナベ小ネジ M4×25	2	59	アームA	1
12	ワッシャー	2	60	アームシャフト	1
13	ワッシャー M3用	2	61	パネロ	1
14	※ナベ小ネジ 2×8	3	62	パネロ	1
15	ラチェット	2	63	アーム部組	1
16	リング φ13用	2	64	鉄板バックシンA	1
17	ボリスタワイド φ13	1	65	減速ギヤー	1
18	中継ギヤー	1	66	モーター部組	1
19	ベアリング 688-2RS	4	67	鉄板バックシンB	1
20	中継ギヤー軸	1	68	サポータープレート	1
21	リング	1	69	鉄ナット M8	2
22	減速ギヤー B-C部組	1	70	※ナベ小ネジ M2.5×12	8
23	メインシャフト	1	71	鉄板A	1
24	カウンタースケール	1	72	コントロールパネル部組	1
25	スラストベアリング	1	73	パネロバックシン	1
26	ダブルラチェット部組	1	74	コントロール部組部組	1
27	※ナベ小ネジ M3×15	2	75	※ナベ小ネジ M3×8	6
28	フレームA部組	1	76	コントロールボックス	1
29	※ナベ小ネジ M4×18	3	77	リング B35	1
30	マスターギヤーシャフト部組	1	78	モーターカバー部組	1
31	スプリングピン 2×10	1	79	トラバースカム部組	1
32	減速ピニオン	1	80	レバリンギヤー部組	1
33	ワッシャー M4用	2	81	センサーギヤー部組	1
34	リング P4	2	82	スプールのパネロ	1
35	※ナベ小ネジ M4×20	1	83	スプールのギヤー	1
36	ハーネスプレート	2	84	スプールのギヤー	1
37	駆動バー	4	85	スプールのギヤー	1
38	ガイドバー	2	86	スプールのギヤー	1
39	ガイドホルダー	1	87	ドラッグカムA	1
40	ガイドホルダー	1	88	駆動ギヤー部組	1
41	レバリンギヤー部組	1	89	駆動ギヤー部組	1
42	レバリンギヤー部組	1	90	駆動ギヤー部組	1
43	スリーブ	1	91	メタルコンソールプレート	1
44	※ナベ小ネジ M4×18	2	92	リング S14	1
45	カラーB	1	93	メタルコンソールプレート	1
46	スプールのギヤー	1	94	※ナベ小ネジ M2×20	3
47	スプールのギヤー	1	95	※ナベ小ネジ M3×12	3
48	止メ	1	96	クランチギヤー	1
			97	ドラッグプレート	1
			98	スラストベアリング	1
			99	ドラッグ	1
			100	ドラッグ	1
			101	ドラッグ	1
			102	ドラッグ	1
			103	ドラッグ	1
			104	ドラッグ	1
			105	ドラッグ	1
			106	ドラッグ	1
			107	ドラッグ	1
			108	ドラッグ	1
			109	ドラッグ	1
			110	ドラッグ	1
			111	ドラッグ	1
			112	ドラッグ	1
			113	ドラッグ	1
			114	ドラッグ	1
			115	ドラッグ	1
			116	ドラッグ	1
			117	ドラッグ	1
			118	ドラッグ	1
			119	ドラッグ	1
			120	ドラッグ	1
			121	ドラッグ	1
			122	ドラッグ	1
			123	ドラッグ	1
			124	ドラッグ	1
			125	ドラッグ	1
			126	ドラッグ	1
			127	ドラッグ	1
			128	ドラッグ	1
			129	ドラッグ	1
			130	ドラッグ	1
			131	ドラッグ	1
			132	ドラッグ	1
			133	ドラッグ	1
			134	ドラッグ	1
			135	ドラッグ	1
			136	ドラッグ	1
			137	ドラッグ	1
			138	ドラッグ	1
			139	ドラッグ	1
			140	ドラッグ	1
			141	ドラッグ	1
			142	ドラッグ	1
			143	ドラッグ	1
			144	ドラッグ	1
			145	ドラッグ	1

使用上のご注意及びお手入れ方法

いつまでも快調にご愛用いただくため、次の事にご注意ください。

- ①電源は正しい指示電圧でご使用ください。
DC-12V専用 (DC-10.5~13.8V)
DC-24V専用 (DC-21.0~26.0V)
- ②落下等急激なショックを与えないでください。
- ③本機は完全防水 (0.3気圧) です。使用後は真水をかけて汚れや塩分を洗い流して、柔らかい布で拭き取ってください。
- ④リールのコンセント部、コードのプラグ部、クリップ部、レベルワインド部は塩分及び水分をきれいに拭き取り、添付のグリースを塗ってください。
- ⑤シンナー等の有機溶剤系のものでは、洗浄お手入れはお止めください。
※市販のスプレー潤滑油は、鉱物性のものが多いので特にご注意ください。
- ⑥指定の注油部 (レベルワインド・電源コンセント) 以外の本体内部には、注油の必要がありません。
- ⑦本機はコンピュータ等の制御回路が内蔵されておりますので、お客様ご自身での分解組立はご遠慮ください。
- ⑧リールを使用しないときはドラグノブを緩め、スプールをフリーの状態にして保管してください。

